

創立五周年記念誌

柏原東高等学校



# 校歌・校旗

## 校 歌

作 詞 田 中 喜 一  
作 曲 近 藤 啓

我ら今ここに集う  
限りなく息吹く大地に  
新しき力は燃えて  
ともに開かん未来の礎  
信貴生駒山並のぞむこの岡辺  
我ら今ここに生きる  
我らが高校 柏原東



我ら今ここに学ぶ  
豊かなる歴史を継いだ  
美しき心は燃えて  
ともに歩まん真理の道を  
大和川さざ波光るこの岡辺  
我ら今ここに育つ  
我らが高校 柏原東

校 舍

正 門



目次

創立五周年を迎えて	巽 三郎	5
創立五周年を祝う	細木孝雄	6
礎石づくりの3年間	石川修一	6
五周年を祝って	岡本嘉男	7
後輩諸君へ	郡山順夫	7
沿革の概要		8
座談会「柏原東高校の五年間を語る」		10
柏原東高校五年のあゆみ		19
教務の記録		20
生徒指導部5年のあゆみ		22
図書視聴覚部の記録		29
進路指導部の記録		30
校外学習5年のあゆみ		32
同和推進委員会5年のあゆみ		34
1期生・2期生・3期生の思い出		35
第1期生からの便り	北由加里	36
高校時代の思い出	坂口太志	36
私の高校三年間	中辻淳子	37
クラブ活動	信夫孝之	37
クラブ活動の思い出	辻谷博己	38
高校生活を振り返って	浅野広美	38
同窓会の足跡		39
P T Aの足跡		40
教職員在籍異動一覧		42
編集後記		44



## 創立五周年を迎えて

学校長 巽 三 郎

創立五周年記念は早や過ぎるのではないか、いつそのこと七周年、あるいは十周年まで延ばしてはどうかなどの考えもありませんでした。然し何事によらず、長期計画を策定する場合には、第一次五ケ年計画、第二次五ケ年計画と云うように、五ケ年を単位に目標を設定し、その都度過去を振り返つて軌道に修正を加え、更に第二第三の目標を指向するのが有効で適切な方法ではないかと考えます。

ところで、地元の強い要望によつて昭和52年柏原市に開設した本校は、規律正しく、明るい校風の樹立と、美しく、充実した教育環境の整備を第一期の目標に掲げて、その第一歩を踏み出しました。

其の後、府教育委員会の温かい御援助はもとより、P.T.A.の本校教育に対する深い御理解と力強い御後援、地域の方々や中学校関係者の熱心な御支持、更には本校教職員の一致協力した努力が結集して、第一期の目標は、ほぼ完全に達成されたように思われます。

先づ第一にそれを実証するのは、創業の苦しみを領ち合つた、一期生二期生の諸君が、それぞれ進学した大学で、あるいは就職した企業先で、本校の教訓を身に体して、たくましく自分の運命を開拓されつつあると云う事実であろうし、また、これに続く在校生の諸君が、規律正しく、学業やクラブ活動に励んでいる姿であろうと思います。

そして第二に、あの開校当時の索漠とした校

舎の周辺が、今やフェニックスの茂る洋式庭園あり、天然の流水が滝となつて絶え間なく流れ落ちる日本庭園あり、の美しい環境に生まれ変わり、更には先輩の諸君がトラックの運転手さんにどなられながら、必死の思いでペダルを踏んだ危険きわまりない通学道路が、今では肩を並べて楽しく談笑し乍ら登下校出来る快適な道路にとつて変つたことであります。

然し乍ら、我々にはまだまだ改善すべき点や乗り越えなければならない困難な点が残されています。この記念すべき五周年を機に、我々職員生徒ともども、初心に立ち帰り、再び決意を新たに、次の五ケ年に向つて新しいスタートを切らなければならないと思います。棒高跳びのバーを、ひとつひとつ高めてゆくように、我々は次の目標を更に一段と高めて、これに挑戦しなければなりません。そこにこそ、年若い本校の若々しい活力の源泉がひそんでいるのだと考えます。

此の度の五周年記念行事は、柏原東高校の歴史に一つのエポックを劃すると云う意味で、ごく内輪の、学内だけのものに限らせて頂きました。本来喜びを領ち合つて頂くべき、数々のお世話になつた学外の方々や同窓生の諸君には、本校が更に一段の飛躍を遂げて、名実ともに中堅校としての実力を発揮する時がくるまで、あと暫くの時を藉して頂くようお願いして、つたないながら、開校以来の歴史をまとめた本誌を、感謝の心をこめてお贈り致します。



## 創立五周年 を祝う

初代教頭

細木孝雄

昭和52年に柏原東高校が創立されて以来、早や5周年を迎え、ここにその記念誌を発行されることになりましたことは、誠におめでたく、心からお祝い申し上げます。

現在柏原東高校は、校舎もすっかり完成し、次第に立派な風格をそなえつつあるのを見るにつけても、開校当初の頃が懐かしく思い出されます。新校舎の完成が2月末頃であつたので、それまでの間、八尾東高校の一室に間借りをして、開校準備を進めました。2月20日に先生方に兼務辞令をお渡しし、第1回の職員会議を行ない、今後の諸計画について、種々討議を重ねましたが、当日の集合の時刻頃には大雨で皆ずぶぬれになって到着されたのが、特に印象に残っています。2月26日に新校舎に移転しましたが、その頃、完成していたのは、現在の校舎の東側の部分約3分の1（玄関から技能員室まで）がぼつんと建っているだけでした。もちろん、体育館や食堂やプールもありません。ただ、運動場は当初からほぼ平らで、ネットフェンスも完成していました。このことは、他の新設校と較べると非常に幸運なことでした。体育館がないので、雨が降ると廊下で体育の授業が行われました。今からでは考えもつかないことが、当初にはあったのです。しかし、先生も生徒も不便さにぐちも言わず、創意と工夫で学校の基礎作りに燃えに燃えたのでした。

私は、現在再び新設の門真南高校で第1年目の創業の生みの苦しみ？（楽しみ、喜び）の中におりますが、3年間柏原東で得られた体験を十二分に生かして、よりよい新設高作りに励みたいと考えております。

最後に、柏原東高校の今後のますますの発展をお祈りして、お祝いのことばといたします。



## 礎石づくりの 3年間

初代PTA会長

石川修一

昭和52年4月開校以来、今年で五周年を迎えるに際し、心より御祝い申し上げます。

開校当初、はからずもPTA会長の大役をお受けさせて頂きましたが、異校長先生をはじめ諸先生方の教育への御熱意と、役員の方々の熱心な御協力と、会員皆様の暖かい御支援・御理解とによりまして、何とか3年間勤めさせて頂き、厚く御礼申し上げます。

想えば、5年前、校舎も今の3分の1しかなく、御寄贈いただいた一冊の古本も貴重なものでありました。学校の教育目標も満たし、かつまた、単なるありきたちのPTA活動でない、何かもっと実のあるものと、役員一同話し合いを積み重ねてまいりました。そして、活動実施計画を立て、後へ続くであろう本会の礎石として、歴史の一頁を我々の手でつくり出すことが、PTA活動の目的であることに意義を見出したのであります。

しかし、三年千日も夢の間に過ぎ、一応の役目を終えさせて頂きましたが、はたしてPTAとして、内容の充実した活動であったらうかと思えば、肌寒さを禁じ得ません。幸い岡本会長に引き継いで頂いた4年目からは、PTA行事への会員の参加も増加の一途をたどっているようで、喜びにたえません。

この上は、PTAのますます効率的な運営と、目的へ向って更に柏原東高等学校の発展と繁栄とを、心から期待いたしまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。





## 5周年を祝って

PTA会長

岡本嘉男

大阪府立柏原東高等学校創立5周年を迎えまして誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

昭和52年、知性と徳育との調和のとれた人間形成を基幹とした5つの教育方針を大切に、激動する時代に幾多の苦難と努力を積み重ね、現在の大阪府立柏原東高等学校に育てあげていただきました校長先生をはじめ諸先生方ならびに巣立っていかれた卒業生諸君および歴代PTA役員、会員などすべての人々の愛校心により輝かしい校風がはぐくまれ、ここに5周年の生長の歩みを持つことになりました。

5周年の記念すべき一節を境としましてこの恵まれた環境を整えるとともにPTA一体の和をもって今日の教育を考え、その改革に向けて希望と前進ある明るく生き生きとした学校として邁進することを願うものであります。「今日という日は昨日の続きではなく、明日の前日である」と聞いたことがあります、音もなく静かに時代が変わるということはまずあり得ないことだと思います。我々社会人が成さねばならぬ仕事は数々ありますが、最も大切で最も緊急を要することは、如何に立派な次代を担う者を育成することではないでしょうか。やゝもすればいい気になつて自己を見失ない易くなり勝ちな者を叱つてくれる人、人道を間違えずに教えてくれる人を持つべきだと思います。それが校長先生をはじめ諸先生方であり父兄であり先輩ではないでしょうか。愛情ある相互対話とともに5周年を一つの節として、今こそ諸先生方が、父兄が、先輩が一体となってその教育と指導にあたるべきだと思います。

校長先生をはじめ諸先生方、御父兄の皆様方、諸先輩の深い愛情と一層の御指導、御援助を賜わりますことを伏してお願い申し上げ、この佳き日のお祝いの言葉にかえさせていただきます。



## 後輩諸君へ

お祝いの言葉にかえて

同窓会会長

郡山順夫

創立五周年おめでとうございます。早いものですね。私達が入学した5年前は、校舎といえは1学年の教室だけがある状態で、さびしい学校でした。グラウンドでの入学式、1学年だけの文化祭、運動会、あの地獄坂のつらさ、色々なことが頭の中を駆けめぐります。その一つ一つが心に懐しく、うれしく思い出されます。

クラブ活動も生徒会も5年目に入って、ますますご活躍しておられる事と思います。私達先輩は、いつでも柏原東に帰つて、もう一度がんばるぞ、という人間ばかりだと思います。在校生の皆さんも、今の生活の中で前向きに歩んで下さい。決してくじけず、妥協せず、少しずつでも前進という目標に努力して進んで下さい。また今は色々苦しい事がたくさんあると思います。今は苦しくとも誠心誠意そのことにぶつかれば、あとあときっと良き思い出になることと思います。決して今の生活から逃げださないで下さい。ただ、むやみに走つてばかりいるのでは、小さなものが見えません。たまにはゆっくり歩いて、一歩の大切さと、周りの風景を楽しみながら進んで下さい。また変つたものが見えるかもしれません。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方、いかがお過ごしでしょうか。あいかわらずご活躍しておられることだと思います。これからも先生と生徒が一体となって、柏原東高校を盛り上げていって下さい。私達卒業生一人一人は微小ですけれども、より良き柏原東高校にしていくために、いつでも力になります。柏原東高校の前途は洋々としています。決して流れに流されず、自分の足で、力で、歩んでほしいものです。

えらそうなことばかり書きましたが、これでお祝いの言葉にかえさせていただきます。



# 沿革の概要

51・4・15 府議会において大阪府立第109高等学校(仮称)設立のための建設予算議決。大阪府教育委員会事務局高等学校等設立準備室において開校準備事務の開始。

51・5・11 第1期工事請負契約の締結。

51・6・9 第1期工事着工。(創立記念日)

51・12・17 大阪府立柏原東高等学校として設置条例の議決。

52・1・1 設置条例の施行にもとづき  
初代校長に巽三郎任命。

52・1・7～2・25 柏原東高等学校開校準備室を大阪府立八尾東高等学校に設置。

52・2・26 現在地へ移転。

52・2・28 第1期工事竣工。

52・4・1 大阪府立柏原東高等学校 全日制普通課程 開校。  
教職員 35名  
1期生 552名(12学級)入学。

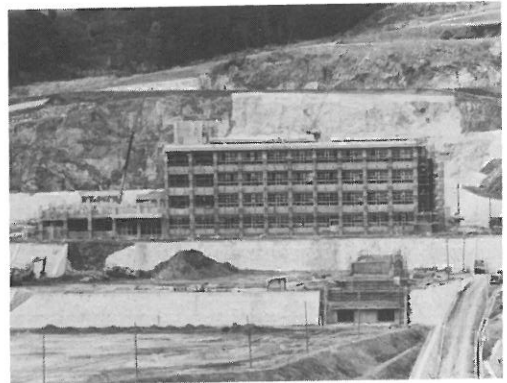
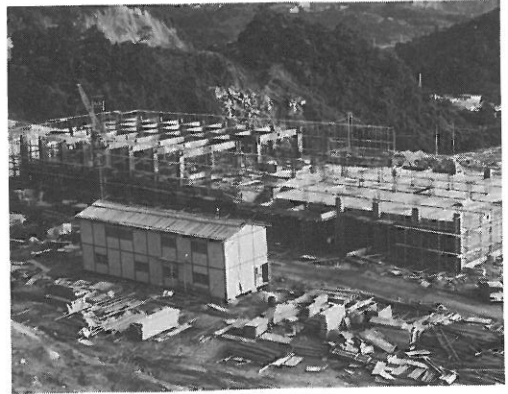
52・4・8 第1回入学式挙行。  
大阪府立柏原東高等学校PTA設立。

53・2・28 第2期工事竣工。

53・4・1 2期生564名(12学級)入学。

53・6・30 プール工事竣工。

53・10・31 体育館工事竣工。



- 53・11・11 体育館落成記念式典挙行。  
校歌制定および発表会。
- 54・2・28 第3期工事竣工。
- 54・3・15 校舎北側斜面防護工事竣工。
- 54・4・1 3期生517名(11学級)入学。
- 55・2・25 第1回卒業式挙行。
- 55・4・1 4期生517名(11学級)入学。
- 55・5・31 第4期工事竣工。
- 55・9・12 通学路(柏原市道)完成。
- 55・9・22 通学路開通式挙行。
- 56・2・24 第2回卒業式挙行。
- 56・4・1 5期生517名(11学級)入学。
- 56・11・7 五周年記念式典挙行。

